

だざいふあと とふるうあと 大宰府跡 (都府楼跡)

所在地/太宰府市
指定/特別史跡



正殿跡 (九州歴史資料館 所蔵)



大宰府政庁 (九州歴史資料館 所蔵)

大宰府跡 (都府楼跡) は、今から約 1300 年前から 900 年前までの 400 年間、九州地方全体を治めたとても大きな役所の跡です。はじめは、現在の福岡市内の近くにあったと言われています。大宰府の中心部は政庁とよばれ、立派な建物が立ち並び、約千人の役人が働いていたといわれています。

大宰府には、他国が攻めてきたときに日本を守るという重要な役割もありました。それは、今から約 1350 年前に、当時日本と仲が良かった百済 (※2) という国を助けるために、唐 (※1) と新羅 (※2) の連合軍と朝鮮半島で戦い、敗れるということがありました。「次は、唐や新羅の軍隊が日本に攻めてくるかもしれない」と思った当時の天皇は、中国や朝鮮からも近い大宰府に、日本を守るための施設 (水城、大野城、基肄城 (※3)) をあわせてつくりました。この時に、大宰府は現在の

太宰府市に移されたと考えられています。

現在、大宰府跡には当時の建物が建っていた礎石と呼ばれる大きな石が残っており、建物の大きさを想像することができるようになっています。

※1 唐：現在の中国。

※2 百済、新羅：現在の韓国にあった国。

※3 水城跡、大野城、基肄城については、他のページで詳しく説明しています。

【もっとくわしく調べたい】

○九州歴史資料館 小郡市三沢 5208-3 TEL 0942-75-9575

○大宰府展示館 太宰府市観世音寺 4-6-1 TEL 092-922-7811

【大宰府あとに行ってみよう】

○西鉄都府楼前駅から徒歩 15 分